

伝統工芸早くも3市連携

新幹線で結ばれる鹿児島、熊本、福岡3市を巡回する「三市連携伝統的工芸品の集い」の出品の合同発表会が16日、熊本市の熊本城本丸御殿で開かれた。薩摩は17日まで。

九州新幹線がこしま

全線開業へ

の熊本城本丸御殿で開かれた。薩摩は17日まで。

(16面に詳報)



おはら祭の行列を再現した博多人形

11月16日、熊本市の熊本城

熊本市の熊本城で16日始まった「3市連携伝統的工芸品の集い」の出品作の合同発表会には、薩摩焼など伝統工芸5種の制作者が、鹿児島、熊本、福岡3市連携をテーマに各都市の風景や各工芸品の特徴的なデザインを取り入れた作品が集まった。訪れた観光客らは、斬新なコラボレーション作品に見入っていた。
(23面参照)

斬新コラボ作品150点

伝統工芸 3市連携

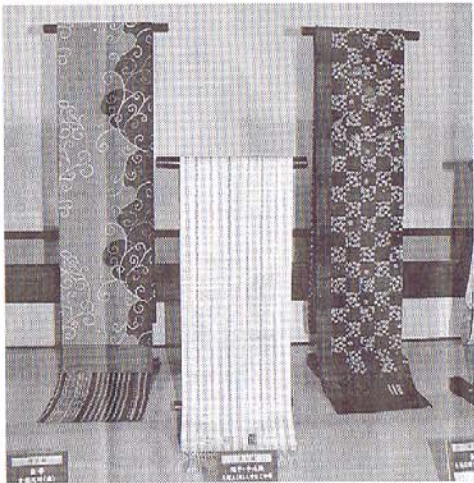
熊本城で 合同発表

全線開業
九州新幹線がしま

集いは九州新幹線全線開業のイベントで、伝統的工芸品のPRや販路拡大が狙い。18日から熊本市で始まり、鹿児島市では9月8～13日、山形屋で開く。入場無料。



▶薩摩焼と博多人形の素材を組み合わせて作った加藤清正のかぶとを見る(右から)森博幸鹿児島市長、吉田宏福岡市長、幸山政史熊本市長ら
116日、熊本市の熊本城



大島紬の着物に合わせるためにデザインされた博多織の帯。右の作品(左上にアップ写真)には桜島や薩摩琵琶が描かれている

大島紬織物協同組合の窪田茂理理事長は「伝統文化を見直すきっかけになれば。今後さまざまな産地との交流やコラボを積極的に進めたい」と語った。

制作体験コーナーもあり、大島紬の機械織りに挑戦した東京都の会社員立沢亜友美さん(29)は「作業の大変さが分かったが、こつをつかむとおもしろい。いつか鹿児島で大島紬を着てみたい」と楽しんだ様子だった。

オープニングには3市の市長が顔をそろえた。鹿児島市の森博幸市長は「新しい魅力が加わった伝統的工芸品を発信し、九州全体の浮揚につなげたい」と話した。

肥後象がんの香炉。福岡をイメージした梅の模様を描いており、火屋は薩摩焼で作られている

